

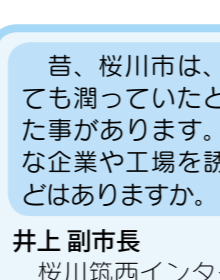


南飯田小 深谷 祥希 議員

桜川市は自然がたくさんあり、農業もさかんです。それを生かして市内で採れた食材や間伐材を使ったレストランを開いたら観光客もたくさん訪れると思いますがいかがでしょうか。

横田 経済部長

農業を営む方が、美味しいお米・こだまスイカ・きゅうり・トマトなどたくさんの野菜などを作っています。地元で採れた野菜や加工品を販売する場所を作り、働くひと・仕事になるレストランなど、間伐材を使った机や椅子、環境にやさしい施設の設置について、検討していきます。



岩瀬小 仙波 千夏 議員

昔、桜川市は、石材産業でとても潤っていたという話を聞いた事があります。桜川市に大きな企業や工場を誘致する計画などはありますか。

井上 副市長

桜川筑西インターチェンジの近くには、企業や工場を誘致できる地域（長方準工業地域）があり、市では平成25年6月にインターチェンジ周辺を整備する計画をつくり、企業や工場の誘致をすすめてきました。これからも、企業誘致や工場誘致を積極的に進めていきます。

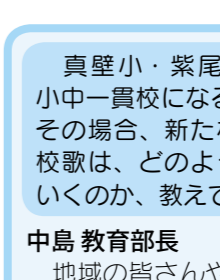


羽黒小 枝 あかり 議員

自転車に乗って出かけるとき、車や歩行者に接触しそうなときがあります。自転車専用道路があると、安全に走行できると思うのですが、そのような計画がありますか。

飯田 建設部長

今のところ計画はありませんが、河川改修事業や、ため池改修事業、公園改修事業等を進めたとき、管理道路や遊歩道など専用道路が出来る可能性もあります。まずは、ドライバーの注意を喚起するグリーンのカラー舗装を引く事業を進め、安全を図りたいと考えています。

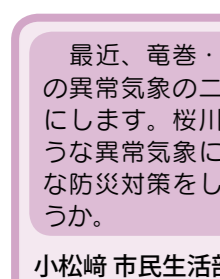


真壁小 小高 真愛 議員

真壁小・紫尾小・桃山中が、小中一貫校になると聞きました。その場合、新たな学校の名前や校歌は、どのようにして決めていくのか、教えてください。

中島 教育部長

地域の皆さんや、保護者の皆さん、今後学校に入学される小さなお子さんの保護者の方、さらには学校の先生方と、一緒に考え、話し合っていく「統合準備委員会」をつくり、皆さんに愛され、大事にされる学校になるために、十分、話し合っていていきたいと思っています。



真壁小 小島 夕未子 議員

最近、竜巻・ゲリラ豪雨などの異常気象のニュースをよく耳にします。桜川市では、そのような異常気象に対してどのような防災対策をしているのでしょうか。

小松崎 市民生活部長

「桜川市地域防災計画」にその対策が示され、防災知識の普及啓発・防災備蓄の推進・防災訓練の実施などを行っています。今年度は、土砂災害の発生が懸念される地域内に雨量計を設置し、雨量観測情報をシステムで監視できるよう整備を進めています。

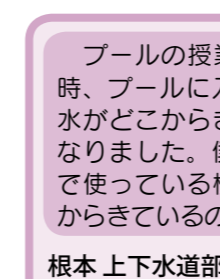


榎穂小 重村 文哉 議員

最近、桜川市の病院の数が減ってしまっているので、病気がけがをしたときに心配になります。桜川市の人口に対して、医師の数や病院の数は足りているのでしょうか。

来栖 保健福祉部長

茨城県と桜川市の医療状況を比較して見ると、病院の施設数では、県の平均値を上回っていますが、医師数と看護師数は下回っています。市としては、中核病院、桜川市立病院の建設問題に取り組み、医師の確保を図り、地域で医療を支えていく体制を進めているところです。



岩瀬小 齋藤 陽一郎 議員

プールの授業が始まり、その時、プールに入ってくる多くの水がどこからきているのか気になりました。僕たちが学校や家で使っている桜川市の水はどこからきているのでしょうか。

根本 上下水道部長

市町村の多くは、湖・川・ダムなどにためた水を利用し、浄水場と言う水をきれいにする施設を通して水を配っています。桜川市では、地下の水があるところまで、穴を掘りくみ上げている水と、霞ヶ浦からの水を利用しています。汚れやゴミを取り除いてから皆様へ配られます。



大國小 宮本 弘樹 議員

本校の通学路になっている大松山には、歩道も街灯もありません。市内の整備状況はどうなっていますか。また、道路わきの雑草の伸びのひどいところもあり、とても危険に思います。

飯田 建設部長

3種類の街路灯があり、商店街街路灯655基、道路街路灯141基、防犯灯3,868基が設置されています。歩道の整備状況は、市道の約3%になります。また、道路除草作業は、市内の通学道路、幹線道路に対し、年2回の割合で除草作業を行っています。

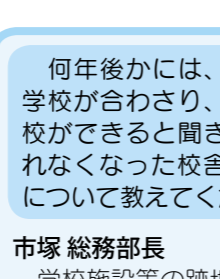


谷貝小 須藤 万絢 議員

桜川市は、自然が豊かで、歴史的な建造物も多く、食べ物もおいしいと思います。桜川市の魅力を対外的にアピールするためにどんな努力をしていますか。

大塚 市長

桜川市観光協会で、ホームページやフェイスブックなどで桜川市の良さをPRし、たくさんの人に桜川市を訪れてもらえるような活動を行っています。地域の観光資源の良さを引き出して多くの人に知ってもらい、桜川市に来てよかったと言われるように努めていきます。



雨引小 尾見 菜香 議員

何年後かには、桜川市の小中学校が合わさり、まとまった学校ができると聞きました。使われなくなった校舎などの再利用について教えてください。

市塚 総務部長

学校施設等の跡地利用は、「公共施設等総合管理計画」の調査結果と合わせ、学区内の公共施設の利用状況、施設の老朽化の状況などを検討し、地域の皆様と再利用について協議を行い、地域活性化のために、跡地の有効活用が図れるように、今後進めていきます。

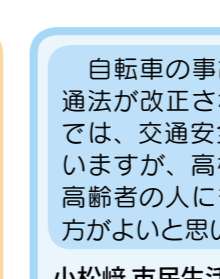


真壁小 小嶋 光星 議員

真壁小・紫尾小・桃山中が、小中一貫校になるのが、平成30年と聞きました。僕たちは、その時に中学3年生です。小中一貫校とは、どのようなものなのか教えてください。

梅井 教育長

小中一貫校では、小学校・中学校の枠を越えた活動が、とてもやりやすくなります。授業、部活、あいさつ運動や学校行事など様々な活動で、小中一体となって取り組むことができます。9年間を通して、皆さんの成長を、応援していきます。



猿田小 古木 寿希也 議員

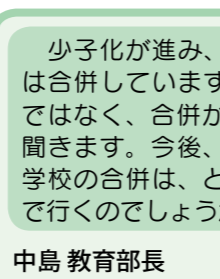
自転車の事故が増え、道路交通法が改正されました。小学校では、交通安全教室等を開いていますが、高校生や大人、特に高齢者の人にも講習会を開いた方がよいと思います。

小松崎 市民生活部長

小・中学校で行う交通安全教室、高齢者への出前講座、交通安全街頭キャンペーンにおける啓発や反射材の配布、交通安全立哨時に指導できるよう、交通指導員を育成し、道路交通法の改正についての周知を行い、自転車事故を減らしていきます。



岩瀬・常陸大和・真壁ライオンズクラブを代表して渡邊義光会長から、石島彩羽議長に記念品が渡されました。



坂戸小 鴨志田 萌瑛 議員

少子化が進み、多くの市町村は合併しています。学校も例外ではなく、合併が進んでいると聞きます。今後、桜川市の小中学校の合併は、どのように進んで行くのでしょうか。

中島 教育部長

平成26年に、「桜川市立小中学校適正配置基本計画」を作りました。11の小中学校を4校へ、5つの中学校も4校へ統合する計画です。統合するかしないかも含め、この計画について、地域の皆さんや、保護者の皆さんと話し合いながら、十分に検討して進めていきます。

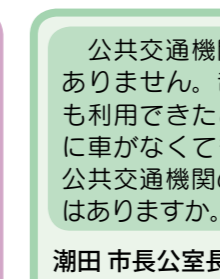


紫尾小 小野里 泉吹 議員

医療福祉費支給制度のおかげで助かると聞きました。高校生になって入院することになったらと考えると不安です。高校3年生まで広げていただけないでしょうか。

小松崎 市民生活部長

医療福祉費支給制度の対象者は、小児、妊産婦、ひとり親、重度心身障害者です。対象者拡大には財政負担が必要となりますので、財源確保が一番の課題となります。今後は、県内他市町村の状況を踏まえ、財源確保も考慮に入れながら検討していきます。



雨引小 安達 由樹 議員

公共交通機関が雨引地区にはありません。昔は、鉄道やバスも利用できたと聞きました。家に車がなくても、出かけられる公共交通機関の整備などの予定はありますか。

潮田 市長公室長

「デマンド型 乗合タクシー」という、安い料金で利用できる乗合いタクシーを運行しています。市外へは、「筑波山口バスターミナル」までの運行だけとなっています。現在、市民の皆様がより利用しやすいような交通システムになるよう、公共交通の検討をはじめています。